



外観

## 明るく豊かに生活できる 快適な空間を作る

石山塗料(株)

代表取締役社長

石山裕一郎さん

石山塗料は、一九四〇年に大川市で創業。以来大川家具の発展に貢献してきた。木工用塗料の卸販売がメイン。そのほか塗装機器、接着剤、研磨剤、家具資材等の卸販売、また戸建住宅から企業の工場まで、外壁、屋根、床等の塗装塗り替え工事も行っている。塗料のプロ、石山裕一郎社長にお話を伺った。

まずお聞きしたのは、家具用塗料の種類。様々なものがあるが、合成樹脂塗料、オイル系自然塗料、漆や柿渋があるそうだ。

「合成樹脂塗料、中でもポリウレタン樹脂塗料は、現在最も使われている塗料ですね。

木製家具塗装の約八〇%がこの塗装方法だと言えます。価格・耐久性・機能性などバランスが良いことが特徴です。」  
原材料の殆どが石油化学製品のため、以前は地球環境やシックハウス症候群等の環境問題も危惧されてきたが、近年では環境にも健康面にも配慮した塗料（F☆☆☆☆）※が一般的になってきているそうだ。

自然系塗料には、オイル（オイル仕上げ）・漆・柿渋等がある。「オイル仕上げとは木材にオイル（ひまわり油や亜麻仁油など）を染み込ませる方法です。オイルを染み込ませる事で木材を保護し、塗膜を形成しないため、木本来の





店内の様子



社員のみなさん

特性（呼吸や調湿）を妨げず、木材が持っている色や美しさを表現できます。人にも優しい、木の質感を活かす塗装。ところで、家具塗装の基本的な工程はどういうものだろうか。

最も広く行われているポリウレタン塗装の場合、「基本的に、木地研磨→目止め着色→下塗りシーラー→塗面研磨→中塗りサンディング→塗面研磨→上塗り着色→仕上げフラットの工程ですね。」工程はさらに増える事もあるという。家具塗装は手間を惜しまず丁寧に仕上げる。使用する着色塗料は、それ

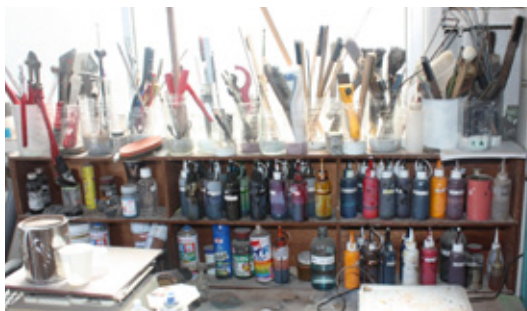


塗装工程

ぞれの企業のリクエストに応じて調合する。「シャープな仕上がりにするのか、柔らかな感じに仕上げるのか、微妙な色彩など各企業の要望として木材の種類に応じて最適な調合を行います。その際、最適な仕上がりのための塗装工程も提案しています。」

近年ではリフォーム会社、施工店だけでなく、個人のお客様の相談にも応じている。戸建住宅の塗り替え等の相談だ。「まず、外壁等の劣化状況を診断させてもらいます。見た目以上に下地が腐食している場合もあります。状況次第で工法や使用する塗料が違ってくるのです。また塗料品質にも段階があつて、安価なものから高価なものまでありますが、質感や特に耐久性に違いがあります。耐久性が五年程度のものや、十年、十五年の耐久性が期待できる塗料もあります。塗り替え周期や予算に応じて検討いただいております。それに今や様々な機能を持つ塗料がある。『低汚染性塗料』や『遮熱塗料・太陽熱反射塗料』『防音塗料』『紫外線防止塗料』『光触媒塗料』、『防かび・防藻性塗料』、一般の方にも扱いやすい『水性塗料』など多種多様な塗料の持つ効果や特性を活かし、お客様の好みや生活スタイルにあった

提案をさせていただきます。」石山さんは夢をこう語る。「塗料は皆さんの生活の身近にあるものです。機能性を持った塗料や好みの色彩を使って楽しんでいただくことで、生活を明るく、豊かにすることも可能です。私たちはより良い快適な生活空間を作る面で、多くの方々のお手伝いをするのが願いです。引き続き木工業の発展のためにも側面からサポートを続けていきたいと思えます。そのためにもより良い商品開発・技術向上に努めていきたいと思っております。」



リクエストに応じて最適な調合を行う

※F☆☆☆☆☆(F☆☆☆☆スター)は、ホルムアルデヒド等級の最上位規格を示すマークです。「☆☆」の数が多いほどよりホルムアルデヒドの放散が少なく、F☆☆☆☆☆と表示されている建材や内装材だけが、建築基準法によって使用量が制限されません。



遮熱効果や防音効果、紫外線防止等様々な機能を持つ塗料を提案する

<http://ishiyama-toryo.jp/>